

2018/4/30（月） 長者ヶ岳（1336m）～天子ヶ岳（1330m）

参加メンバー：Tu、会員外2名

大型連休の前半、富士五湖周辺と言うこともあり渋滞を心配していた。立ち寄った朝霧高原の道の駅はかなりの人で賑わっており、ここから見る富士山の大きさに圧倒される。心配していた本栖湖近辺での渋滞も無く、計画通り8:00 休暇村富士の駐車場に到着。日帰り用の駐車場に何とか停めることができた。

天気は晴れ。当初の計画とは異なり女性3人の気楽な山行となる。休暇村富士の裏手からいきなり急登が始まる。ここからの登山者はあまり無く結構静かであった。分岐をすぎると田貫湖口の長者ヶ岳登山口から来たと思われる一団が沢山登ってきた。

東海道自然遊歩道と言うだけあってとても整備されており歩きやすい。長者ヶ岳まではときどき緩やかな登りを交え意外と早く到着。山頂にはベンチとテーブルがあり、田貫湖と富士山が一望の元良く見えた。裏側には北岳～間ノ岳、農鳥岳、塩見岳の山々が一望に。

休憩中に15名余りの団体が到着。早々に席を譲って天子ヶ岳に向け出発する。

天子ヶ岳までの登山道も樹林帯の中とても歩きやすく、多少急登もあったが予定より早く到着。

山頂の広い広場には2パーティーが休憩中。広場は広いが展望が無く、展望台へ少し下る。展望台からは富士山がくっきり。ここで富士山を目の前にしながらゆっくり昼食を摂り至福のひと時を過ごす。

先ほどの団体が賑やかに到着、写真撮影を頼んだ後早々と席をゆずり、下山へと向かう。

コバイケイソウの群生を左手に見ながら下山を始めるといきなり急坂の下りが始まる。

あまり下りでは使いたくないルートなのか大方の登山者はピストンで登り口の田貫湖へと引き返して行った。

1時間余りの急坂を下り、見事に植林された手入れの行き届いた杉林を抜けると林道歩きとなり、パラグライダーの岡にでる。パラグライダーの滑空を横目に見ながら舗装路を川沿いに歩いて行くと、オートキャンプ場が現れる。休暇村のキャンプ場は大混雑でテントとテントが接するくらい過密状態であったのに、ここ天子の森キャンプ場は空きずきしていて快適そうであった。舗装路にでるが不安になるくらい意外と長かった。

ほぼ予定通り駐車場に戻ってきた。シロヤシロのつつじは未だ咲いておらず芽吹きの新緑が鮮やかに印象的だった。一日中富士山を眺めながらののどかな山行であった。

「白糸の滝」を見たことが無い2人の希望で、滝を見学して帰ることに。滝の圧倒的なスケールに感動しながら今日1日の良き山行を締めくくった。

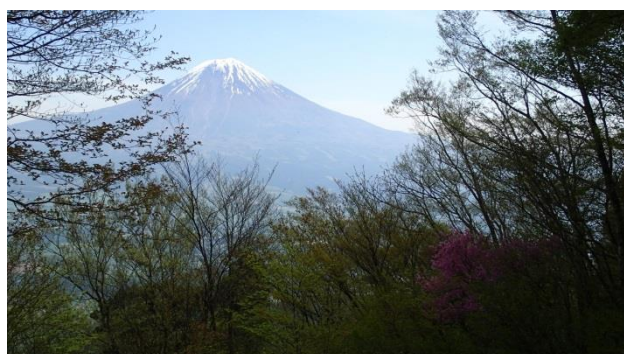
【コースタイム】

茅野 6:00～8:00 休暇村富士P～登山口 8:15～9:00 休暇村分岐～1 長者ヶ岳 10:35～11:15 天子ヶ岳

大休憩 昼食 11:55 ～田貫湖分岐～14:30 休暇村富士登山口



富士山と田貫湖



天子ヶ岳の展望台より



白糸の滝